

## 会 議 録

### 1 会議名

令和元年度第8回板倉区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

- ・ 諮問
  - ・ 諮問第120号 板倉区の小学校の統合について（公開）
- ・ 協議
  - ・ 令和元年度地域活動支援事業の検証について（公開）
  - ・ その他（公開）
- ・ その他（公開）

### 3 開催日時

令和元年8月21日（水）午後6時00分から午後7時00分まで

### 4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 2階 201・202会議室

### 5 傍聴人の数

3人

### 6 非公開の理由

—

### 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：平井達夫（会長）、小林良一（副会長）、北折佳司、上野きみえ、島田信繁、西田節夫、新井清三、古海誠一、島田正美、古川政繁、増村眞一、福崎幸一、長藤豊
- ・ 事務局：板倉区総合事務所 米持所長、笠松次長、嘉鳥総務・地域振興グループ長、丸山市民生活・福祉グループ長、宮尾産業グループ長、隠田建設グループ長、石川教育・文化グループ長、村山地域振興班長、安原主事（以下グループ長はG長と表記）
- ・ 参 加：教育総務課 金子教育総務課長、藤田参事、内山企画係長

### 8 発言の内容（要旨）

【笠松次長】

- ・会議の開会を宣言

【平井達夫会長】

- ・挨拶

【米持所長】

- ・挨拶

【平井達夫会長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

4 諮問 諮問第120号 板倉区の小学校の統合について、諮問事項の説明を受け、協議、採決を行う。

【金子教育総務課長】

- ・資料により説明

【平井達夫会長】

諮問に対する協議は教育総務課退席後に行う。ここでは、ただ今の説明に対し質問のある方は挙手を求める。

【長藤豊委員】

各小学校での事前説明会では針小学校が最も収容能力があるということであったが、昨年の地域協議会での説明ではどの小学校も収容能力はあるが針小学校は通学、総合事務所が近くにあること、路線バスが通っていることが理由であった。各小学校での事前説明会で針小学校に決まった理由の経緯を説明する必要があるのではないか。

【金子教育総務課長】

昨年の地域協議会での説明の時点では情報不足であったが、宮嶋小学校、山部小学校の教室の面積が針小学校と比べて小さいことは事実である。昨年説明したとおり、中心地であることも理由の一つであるので、事前説明会で校舎の大きさにより決定したというのは説明不足であった。

【平井達夫会長】

質問が無いようなので、ここで教育総務課職員は退席する。

(教育総務課退席)

これより諮問に対する意見交換を行う。諮問に対し意見がある方は挙手を求める。

【北折佳司委員】

針小学校は、ほかの小学校舎より古くに建てられたが、強度に問題はないのか。また、小学校の跡地利用について、検討してもらいたい。

【古海誠一委員】

小学校統合の問題は、これまでも取り組んできた。諮問どおりでよいと思う。

【西田節夫委員】

各小学校区の事前説明会に参加したが、様々な意見が出た。これから実行委員会が立ち上がり、共に検討し、議論していく必要がある。諮問どおりでよいと思う。

【平井達夫会長】

意見等無いようなので、諮問第120号 板倉区の小学校の統合については、諮問内容を適当と認め、答申してよいか。

(異議なし)

諮問内容を適当と認め、答申する。

「諮問第120号 板倉区の小学校の統合について」の協議は以上とするが、答申書の確認については、私と副会長に一任いただいでよいか。

(異議なし)

それでは、最終的な答申書は、私と副会長が確認することとする。

次に、5 協議に移る。(1) 令和元年度地域活動支援事業の検証について、地域活動支援事業審査基準検討部会から素案を検討いただいたので、上野座長より報告願う。

【上野きみえ委員】

地域活動支援事業の検証・検討等について、地域活動支援事業審査基準検討部会で検討することとなったことから、8月20日に部会を開催して協議した。

まず、昨年度見直しを行い今年度実施した結果について、今年度から優先して採択すべき事業の板倉区の採択方針に「地域課題を解消する事業」を追加したこ

と、追加募集の実施回数を見直したことで、提案団体と関わりの強い委員には採点を自粛してもらうこととしたが、現在の採択方針、審査方法で特に問題ないため、見直しの必要はないとの意見となった。

また、他区では継続事業の補助率を下げているが、板倉区では自主財源の有無によって提案を制限すると、本来の目的である地域の活性化に繋がりにくくなることから特に規定はしていない。新規事業、継続事業問わず必要な事業について、見定める方法として、審査基準の点数配分を変えることによって、必要性のある事業はほかの事業と差がつくようにしてみてもどうかという意見が出た。板倉区では現在、5点×5項目で採点しているが、項目ごとに点数の配分を変更する、または、新たな項目を追加するなど、事業の必要性を精査できるよう具体的な審査基準について検討していくこととした。

**【平井達夫会長】**

ただいまの報告について、質問・意見のある方は挙手を求める。

(意見なし)

意見等ないので、(1) 令和元年度地域活動支援事業の検証については以上とする。次に(2) その他に移る。事務局で協議事項はあるか。

**【嘉島総務・地域振興G長】**

旧根越地区史跡文化継承による内外交流活性化事業について、地域協議会から「根越」という地名について適切かどうかという意見について、古海委員から回答書、資料の提出があったので、委員に配布する。内容について古海委員に説明を求める。

**【古海誠一委員】**

宮嶋地区連絡協議会としては適切か不適切かどうか判断できないため、地域協議会に検討をしてもらいたい。

(資料により説明)

**【平井達夫会長】**

ただいまの説明について、質問・意見のある方は挙手を求める。

**【小林良一副会長】**

資料により説明してもらったが、この通りでよいと思う。

**【西田節夫委員】**

根越という地名は、このままでよいと思う。

**【長藤豊委員】**

宮嶋小学校と筒方小学校が統合する前から、根越っ子という名前が使われていたことは知らなかった。以前宮嶋小学校と統合した後に、宮嶋地区と筒方地区と一緒に根越の会を始めたが、数年で打ち切りになったことを覚えている。筒方地区は根越という地名にあまり関心を持っていなかったかもしれないが、私は筒方地区出身として、根越という地名を使うことには反対である。

**【新井清三委員】**

筒方地区の子供たちに根越とは何か聞かれることがあったことから、板倉区全体に、根越という地名はあまり認知されていないと思われ、この言葉や地区の特性を後世に伝えていくことは必要である。私は、根越という地名のままでよいと思う。

**【平井達夫会長】**

ここで多数決により採択を決定する。

根越という地名を使うことに賛成の委員は挙手をお願いする。

(賛成多数)

賛成多数のため、根越という地名は使用しても問題ないとする。

皆さんの方で協議事項はあるか。

**【西田節夫委員】**

中学校等の大会で、遠征費の補助金はないのか。

**【石川教育・文化G長】**

次回までに確認し回答する。

**【新井清三委員】**

私は以前利用したことがあるが、個人で申請し、遠征費の一部を補助金としてもらえたと思う。

**【平井達夫会長】**

次に、6 その他に移る。事務局で報告事項はないか。

**【嘉鳥総務地域振興G長】**

自治・地域振興課から平成30年度地域活動支援事業事例集の送付があったので、事前配布資料と一緒に配布した。

**【平井達夫会長】**

皆さんの方で何かあるか。

(なし)

次回の地域協議会の日程について、9月18日水曜日の午後6時から板倉コミュニティプラザで行うこととしてよいか

(全員了承)

次回第9回地域協議会は、9月18日水曜日の午後6時から板倉コミュニティプラザで行う。6 その他は以上とする。

本日の会議録の確認は、西田委員にお願いする。

**【小林良一副会長】**

・挨拶

**【笠松次長】**

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

板倉区総合事務所総務・地域振興グループ Tel0255-78-2141 (内線123)

E-mail:itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。